学校番号	T0106

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　国語総合」改訂版　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」をキーワードに、古典や近世以降の文章などを教材として以下のことがらを学ぶ。具体的な取り組みとして、
・目的や場に応じた話し方や言葉づかいなどを身につける。
・文章の組立て，語句の意味，表記の仕方などを理解し，語彙（ごい）を豊かにする。
・常用漢字の読み、書きの力をつける。

2　学習の到達目標

・国語を正しく表現し、しっかりと理解する能力を高める。
・伝え合う力、考える力、心を豊かさ，言語の感覚を育てる。
・言葉の文化に対する関心を深め，国語を尊重する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	ワンダフル・プラネット メッセージ探しの旅	5W1H 内容に沿った表現の工夫 時制。指示語の指示内容の探し方 要点のつかみ方・まとめ方	○	○	○	○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいるか。 b:自分の体験に引き付けて意欲的に話し合っているか。 c:板書を正しく写しているか。 d:全体の主旨を読み取れているか。 e:作者のメッセージを理解しているか。	課題プリント、ノート、小テスト、定期テスト
	漢字の性格　羅生門 季節の言葉と出会う	主旨理解 段落構成確認 段落ごとのまとめ 要旨に対する自分の意見をまとめる	○	○	○	○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいるか。 b:自分の体験に引き付けて意欲的に話し合っているか。 c:板書以外の事柄もメモしているか。 d:多様な表記を用いるという日本語の特質を読み取っているか。 e:日本語の特徴を理解しているか。	
後期	古典基礎 ねずみの婿取り	いろは歌・十干十二 文法 朗読 書写 暗唱	○				○	a:古典の世界に親しんでいるか。 e:古語の意味、分法を理解しているか。	課題プリント、ノート、小テスト、定期テスト
	枕草子　百人一首	書写 朗読 暗唱 内容読解	○				○	a:古典の世界に親しんでいるか。 e:古語の意味、分法を理解しているか。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点については○をつけている。